

令和 2 年 6 月 25 日

『2020 学生ヒロシマ「平和」を考えるサミット』を開催し、
「学生ヒロシマ宣言」を発表します

広島大学平和センターは『2020 学生ヒロシマ「平和」を考えるサミット』を今月から 7 月にかけて開催します。学内公募で選ばれた多国籍の学部学生・大学院生 13 人が平和をテーマに徹底討論を行い、「学生ヒロシマ宣言」として発表します。

被爆 75 年を迎える今年、「ポスト・コロナ」の世界も見据えつつ、他方でヒロシマの経験という原点に立ち返りながら、これからのヒロシマの役割、次世代の理想とすべき「平和」について議論します。

オンラインを含めた学習、研究会、被爆者の方との対話などを通じて、被爆体験の継承とともに、核兵器、戦争、飢餓など人類が直面する課題にどう向き合うか討論を重ね、学生版の「平和宣言」となる『2020 学生ヒロシマ宣言』を起草・発表します。

次世代を担う当事者である学生に、若い視点でこれからの「平和」を考え、提案してもらい、被爆地の大学から世界に向けて発信します。

宣言は 8 月 6 日に発表会、学長への手交式を行います。

(※ 勉強会 4 回、研究会 1 回、被爆体験講話 1 回、学生討論 6、7 回を予定)

【お問い合わせ先】

広島大学平和センター
〒730-0053 広島市中区東千田町 1-1-89
TEL:082-542-6975 FAX:082-245-0585
E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp

2020年6月23日
広島大学平和センター

2020 学生ヒロシマ「平和」を考えるサミット
開催の趣意

戦後、国際社会は自由で開かれた国際協調主義を標榜し育んできた。経済のグローバル化が進展する一方、これに伴う影の部分として、途上国における貧困、気候変動、新興・再興感染症などの公衆衛生や難民問題が深刻化していった。これらのグローバル課題は、一国だけで解決することは困難で、国境を越えた世界規模での協調の必要性は常識であった。議論はあったにせよ、国際社会はグローバル化の瑕疵を反グローバリズムによってではなく、グローバルな協調によって乗り越えようとしてきたのである。

ところが今般の新型コロナ禍は、一国では解決できない問題であるにもかかわらず、戦後75年長きにわたって構築されてきたグローバルな協調体制を根底から覆すような事態を招いている。皮肉にも、各国は自国を考えることで手一杯となり、他国との協調を捨てた「自国第一主義」が広がりつつある。

こういった時代であるからこそ、「平和」を標榜する広島大学は、冷静にポスト・コロナの社会を見据えて、自国主義に陥らない国際協調による「平和」を模索し、具体的な提案をする使命を負っている次世代を担う学生を中心に、ポストコロナの「平和」を自由闊達に議論してもらう場として、2020 学生ヒロシマ「平和」を考えるサミットを開催する。

2020 学生ヒロシマ「平和」を考えるサミット: 募集要項

1. 趣旨・目的

選抜された広島大学の多国籍の学生が、「平和」の重要性・意味について議論、発表します。原爆、虐殺、捕虜虐待や飢餓など人類が直面した惨劇を真正面から捉え、そこから和解と恒久平和に向けた教訓を得ながら、未来の世界について考えます。

2. 2020年のテーマ

世界は新型コロナウイルスの流行によって、人々の健康は脅かされる中、私たちの社会は生活防衛のために日々、戦っています。しかし、事態が長期化するなかで、核廃絶に向けた知的対話、真剣な議論の火を消さないことも、また重要です。例えば、新型コロナ禍によって NPT 再検討会議は無期限延期されている状況を考えてみましょう。核軍縮に向けた議論は事実上、棚上げになってしまっています。したがって被爆 75 周年を迎える本年は、ポスト新型コロナウイルス時代の世界も見据えつつも、他方でヒロシマの経験という原点に立ち返りながら、被爆経験の継承と核廃絶の取り組みのために市民社会、国際社会が成すべき原則を構想し、普遍的平和を目指す「2020 学生ヒロシマ宣言」として発表します。

なお、新型コロナ感染拡大の影響がなければ、広島大学外の大学生の参加も考えていましたが、2020 年本サミットへの参加資格は、広島大学の学生に限定します。

3. 実施内容

- 2020 年 6～7 月に学生による全3回の集中討論(サミット)を行います。
- そのうち1回は、インターネットを通じ被爆者に参加いただく予定です。
- 選抜学生はセンターの研究会にも参加します。
- 使用言語は英語と日本語です。
- 2020 年 6～7 月に全3回、センター教員によるショート・レクチャーを予定しています。
- 被爆経験の継承と核廃絶の取り組みのために市民社会、国際社会が成すべき原則を構想し、宣言としてまとめ(英語・日本語)、普遍的平和を目指す「2020 学生ヒロシマ宣言」として 8 月 6 日に学長に手交します。

いずれも、インターネットを通じて、あるいは社会的距離をとりながら実施します。

4. 応募・選抜の方法

- 募集方法:《公募》
- 募集人数:8 名(最大)
- 応募資格
 - 2020 年 8 月 6 日時点で広島大学に在学する学生
 - インターネットを通じて議論ができる環境を有するもの
 - 英語で議論ができるもの(日本語会話もある程度できることが望ましい)
- 募集〆切:2020 年 6 月 7 日

- 必要書類:
 - 出願フォーム(Application Form)
 - エッセー「新型コロナ後の世界におけるヒロシマの役割について」(氏名とタイトルをのぞき、英文で500-800 Words)
以上をメールで送付する (heiwa@hiroshima-u.ac.jp)。表題には「Application for 2020 Student HIROSHIMA Summit」と明記のこと。

- 選考結果:
 - 平和センターのメンバーが最終候補者を選考します。
 - 最終候補者には 2020 年 6 月 12 日までに連絡します。

5. 問い合わせ

The Center for Peace, Hiroshima University

広島大学平和センター

〒730-0053

広島市中区東千田町 1-1-89

TEL 082 542 6975

FAX 082 245 0585

E-mail: heiwa@hiroshima-u.ac.jp

なお、選考過程に関する問合せには応じられませんのでご了承ください。